

# 特集 平成29年度施政方針

## 魅力あふれるまち

～ずっと住み続けたいまちを目指して～

特集

三月六日(月)、平成二十九年豊山町議会第一回定例会において、服部正樹町長が平成二十九年年度の施政方針演説を行いました。

今月号の特集では、その全文をお知らせします。

### はじめに

平成二十九年第一回豊山町議会定例会の開会にあたり、関係諸議案の審議に先立ちまして、新年度、町政に臨む私の所信と主要な施策の方針につきまして申し述べ、議員各位並びに町民の皆様のご理解とご協力を賜りたいと思います。

町長に就任してから三か月余り、改めて責任の重大さを感じるとともに、豊山町のさらなる発展のため、町民の皆様から託された思いと夢の実現に向けて、町政の推進に全力を傾けていく決意であります。

空港や都心へのアクセス、豊かに残された自然や文化、そして地域の密接なつながり。自治体の規模は小さくても、豊山町は魅力いっぱい町です。明治三十九年の豊山村の誕生から先人たちに脈々と引き継がれてきた豊山の伝統や文化を引き継ぎながら、町政に新しい風を吹き込み、豊山町の魅力をさらに高めていくため、全力で取り組

んでいく所存です。

本町では、これまで、まちづくりの核として県営名古屋空港の周辺地域が、日本を代表する航空機宇宙産業の集積地となることを目指して取り組んできました。MRRJ最終組立工場、JAXA飛行研究施設、航空館boon、今秋オープン予定の「あいち航空ミュージアム」など、これまでの取組が成果となって現れています。

これらの特徴を活かしながら、地域産業の活性化を図り、これを弾みとして防災や防犯、環境や福祉、教育分野での施策のさらなる充実を目指し、町民の皆様がこの町に住んで良かったと思っただけのまちづくりを進めてまいります。



その最初の一步となるのが平成二十九年年度です。町としての実力にさらに磨きをかけ、上向きなスパイラルを作り出せるよう、力強く進めてまいります。

### 平成二十九年当初予算の概要と施策の特徴について

それでは、平成二十九年当初予算の概要と施策の特徴について、申し上げます。

新年度予算は、これまでの取組や成果等を踏まえながら、まちの将来像である「にぎわいとやすらぎのアーバンビレッジ」の実現を目指すとともに、私が先の町長選挙の際に掲げた「町民の皆さん誰もが住みやすい、住み続けられる町」への取組を進めてまいります。

平成二十九年年度の当初予算の編成にあたっては、民間的視点からの「将来を見据えたメリハリのある予算」を基本姿勢として、編成を行いました。

一般会計の総額は、61億7500万円、対前年度比3億5400万円、6・1%の増となっています。これは、当初予算としては5年連続で前年度を上回るもので、14年ぶりの60億円を超える予算となります。国民健康保険をはじめとした特別会計の総額は、34億9886万円、対前年度比2797万円、0・8%の増となっています。